

る様に考えてやらねばならない。人間の適応作用は夏よりも冬の方がより良いものであるから、個人性に気をつけ乍ら、薄着の習慣えと漸次に順応させてゆかねばならない。冬でも暖い日は薄く、寒冷の日は厚くという様に、一様に厚着はしない様になどと考えないで、幼児の個人性、環境の変化に對する適応生活に基いて考えてやらねばならない。暖房にしても必要以上に暖くならない様に常に気をつけるということ、災害の起らぬ様に安全教育の面で充分保護や注意をすると同時に設備を充分に点検することは云う迄もない。

幼児期は保護の時代であるが又一面自主的の芽を育てなければならぬ時代である。

要するに冬の健康については、冬の幼児の生活（主体としての幼児と環境としての自然、社会との関聯という事の上）に立つて考え乍ら生活の指導をすることに依つて幼児自身に自主的な芽ばえが伸びゆく様にせねばならない。其為には幼稚園の先生は一

方では幼児の身体に就ての研究、一面ではその地域環境についての調査を行い、その相關による幼児生活の実態を把握してその

健康への指導を行わねばならない。

（神戸大学教育学部教授）

## ——文部省よりの幼稚園教育要領案 の発表について——

昭和29年10月12日より10月15日まで東京において、同じく9月28日より10月1日まで京都において、文部省の主催により開催された幼稚園教育研究集会において、参加各都道府県の代表者達に「幼稚園教育要領案」が配付され、説明があった。各代表者達は、これを各地方に持ち帰り検討することとなり、文部省でも、これを出来るだけ広く検討されることを望んでいる。

これは未だ原案にすぎないので既定のものと混同されることを恐れ本誌においては未だ全文は掲載しない。

### ▷ 幼稚園教育要領案目次◁

1. 教育の一般目標（省略）
2. 幼稚園の教育目標
3. 教育内容  
(1) 健康 (2) 社会 (3) 自然 (4) 言語 (5) 音楽リズム (6) 絵画製作
4. 教育日時数（省略）
5. 教育課定の構成と運営（省略）  
(1) 目標の設定 (2) 経験や活動の組織 (3) 年間計画と月計画及び週計画 (4) 教育課程の評価
6. 指導と指導結果の評価（省略）  
(1) 指導 (2) 指導結果の評価